

ぜひ知っておきたい 『脳卒中のリハビリテーション』

突然の脳卒中で身体の麻痺や高次脳機能障害が残った方が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるために、リハビリテーションの持つ役割は重要です。とくに、74%の方に何らかの高次脳機能障害を伴うといわれ、社会復帰をめざすために取り組むべき適切な時期・適切な場所・適切な治療とリハビリテーションとは何かを、当事者・家族・さらには支援者がそれぞれの立場で知っておくことで、リハビリテーションの大きな成果に繋がります。

今回の研修では、リハビリテーション従事者の育成や、医療・保健・福祉分野の関係機関の連携を推進し、地域包括ケアシステムの構築に尽力されている、武澤信夫先生（京都府リハビリテーション支援センター長・京都府立医科大学脳神経内科）をお招きし「脳卒中のリハビリテーション」についての講演をいただきます。

[プログラム]

報告

「脳卒中退院後のリハビリテーション～自立訓練の現場から～」

堺市立健康福祉プラザ生活リハビリテーションセンター 理学療法士

講演

「脳卒中のリハビリテーションと地域連携」

講師 武澤 信夫 先生

（京都府リハビリテーション支援センター長・京都府立医科大学脳神経内科）



武澤 信夫 先生（日本専門医機構リハビリテーション科領域専門医・日本脳卒中学会専門医など）

京都府立医科大学卒業。京都第一赤十字病院を経て医療法人健康会京都南病院に勤務。同病院にて副院長を勤められた後、京都府健康福祉部リハビリテーション支援センター長・京都府立医科大学脳神経内科学内講師として、リハビリテーション従事者の育成や地域の医療・福祉の連携体制の構築に取り組まれている。京都地域リハビリテーション研究会代表幹事・京都府リハビリテーション連絡協議会作業部会委員長・高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会委員などを歴任されている。

【日 時】 令和元年 11 月 10 日（日） 13：30～16：00 （開場 13：00）

【会 場】 堺市総合福祉会館 6 階 ホール

【参加費】 無料 ※要約筆記あり。手話通訳の必要な方は申込用紙に記入してください。

【定 員】 300 名

《《お申し込みについて》》

＜お申し込み方法＞

チラシ裏面の参加申込書に、申込者名・所属・ご連絡先を記入の上FAXまたはメールにてお申し込みください

＜お申し込み先＞

堺市立健康福祉プラザ 生活リハビリテーションセンター

FAX:072-243-0202 メール:reha-kensyu@sakai-kfp.info

＜問い合わせ＞

堺市立健康福祉プラザ 生活リハビリテーションセンター

TEL:072-275-5019

申し込み締め切り

令和元年 10 月 31 日（木）

手話通訳の必要な方は 10 月 25 日

までにお申し込みをお願いします。

参加申込書

【申込先】 (FAX) 072-243-0202 (Eメール) reha-kensyu@sakai-kfp.info

堺市立健康福祉プラザ 生活リハビリテーションセンター
別府・竹内 宛

住	所	
T	E	L
F	A	X
所 属 機 関 名 (支援者の場合)		
お名前		該当するものに○をお着け下さい
ふりがな		当事者・ご家族・支援者（職種： ）
1.		
ふりがな		当事者・ご家族・支援者（職種： ）
2.		
ふりがな		当事者・ご家族・支援者（職種： ）
3.		
研修会参加にあたってのご要望等ありましたら、お書きください。		
手話通訳の必要な方はチェックしてください→□必要		

※当日午前 10 時時点で、大阪府全域に特別警報、暴風警報、大雨警報が発令されている場合、中止とさせていただきます

※ご記入いただきました個人情報につきましては個人情報保護法を遵守し、適切に取り扱います。なお、主催者が撮影した写真・映像は当センターの情報誌、ホームページの記載に使用させていただく場合がございます。

※ 令和元年 10 月 31 日(木)までに、
FAX にて、申し込み先までご送付ください。

※参加希望者が複数名おられる場合は、優先順位の高い方から順番にご記入ください。応募者多数の場合は、調整をさせていただく場合があります。

※公共交通機関をご利用ください。

※手話通訳の必要な方は 10 月 25 日までにお申し込み
をお願いします。

